



田高校の生徒の派遣交流事業を6年ぶりに再開し、国際感覚豊かな人材の育成と更なる交流の促進に努めてまいります。

▼移住・定住の促進

移住ツアーやお試し居住体験を引き続き実施し、新規移住者の拡大を図るとともに、移住者や若者の住宅取得支援補助金により定住を支援してまいります。

①活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

▼農業の振興

米崎町佐野地区の簡易給水施設を上水道区域へ切り替える工事へ補助を行うほか、農業用ため池の安全対策や、排水路の整備および改修とともに、不要となったため池の廃止を進めてまいります。また、岩手県と協力し、横田町金成地区のほ場整備事業の完了に向けた事務を進めるとともに、農業生産基盤の強化に努めてまいります。

▼林業の振興

国の新規就農者育成総合対策などを活用するとともに、定年帰農者を想定した地域農業担い手育成事業費補助金を活用し、就農を支援してまいります。

▼商工業の振興

地域ブランド米「たかたのゆめ」を市内保育施設や小中学校で米飯給食として使用することを継続するとともに、栽培技術の確立を目指すほか、化学農薬や、化学肥料の使用量を低減する特別栽培の普及を推進してまいります。

また、近年、鳥獣の目撃情報が多く寄せられていることから、引き続き市鳥獣被害対策実施隊による捕獲の推進や、新規狩猟免許取得者などに対する支援を継続し、担い手の確保に努めてまいります。

▼水産業の振興

貝毒の問題につきましては、従来から本件の研究に取り組んでいる東北大学と連携しつつ、県水産技術センターなどにも働きかけながら、発生原因の究明、発生防除の取組を進めるとともに、貝毒検査に係る費用への補助や共済制度への加入を促進することにより、生産者への支援を行うてまいります。

▼観光の振興

昨年、震災後初めて年間の観光入込数が130万人を突破し、今後も増加が見込まれることから、引き続き地域資源を活かした体験型観光を強化するため「ブルーツーリズム」を推進するほか、「みちのく潮風トレイル」や「日本遺産みちのくゴールド浪漫」「三陸ジオパーク」などの三陸の「自然・歴史・文化」を活用し、交流人口・関係人口の拡大に向けた取組を進めてまいります。

教育行政方針

郷土で学び夢を拓く、心豊かでたくましい人づくり



【全文はこちらから】

市教育委員会では、令和6年度から10年度までの5年間の計画期間とする「第10次陸前高田市教育振興基本計画」の策定に当たり、令和5年8月に、本市の教育行政を進めていく上でのビジョンとなる「教育大綱」を改定したところであり、

今後は、「教育大綱」に掲げる基本理念である「学びを通じて、未来を創造する、心豊かでたくましい人づくり」を軸に、「自ら考え、判断し、たくましく生き抜いていく力の育成」など、6つの基本方針をスローガンとして、新たな教育振興基本計画に掲げる26の基本施策を着実に進めるとともに、先人たちが築き上げてきた「時代を超えて変わらない価値のあるもの」を重視しながら、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」を取り入れていく「不易流行」の考え方を基本として、教育振興基本計画を推進してまいります。

①自ら考え、判断し、たくましく生き抜いていく力の育成

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を推進するとともに、ICT教育や防災教育に取り組んでまいります。

②一人ひとりを大切にした学校教育の推進

「子どもたちの心のケア」「配慮を必要とする子どもへの支援」「学校不適応解消に向けた支援」「いじめ防止の啓発や対策」「教育のための経済支援」など、「誰一人取り残されない学びの保障」に努めてまいります。

③学校、家庭、地域が一体となった教育の推進

「コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進」「家庭教育の推進」「子育て支援」に取り組んでまいります。

④安全・安心な教育環境の整備

「学校施設の老朽化対策」「通学路の安全性の確保」に取り組んでまいります。

⑤生涯学習を通じた地域共生社会の実現

「生涯学習の推進」「学習機会の提供」「学びを通じた地域づくり」を推進するとともに、市立図書館の利便性の向上、市立博物館の展示を通じた交流人口の拡大や地域の活性化に努めてまいります。

⑥価値ある歴史・伝統・文化の充実と次世代への継承

「文化財の保存活用」「子どもたちの芸術文化の体験機会の確保」を推進し、市民の誇りと郷土愛を育み、地域のDNAをまちづくりに生かす取り組みを進めてまいります。



いしかりふみひろ 石渡史浩氏(56)が副市長に就任



3月22日(金)の令和6年市議会第1回定例会で、東北地方整備局企画部の石渡史浩氏が新たに副市長に選任され、4月1日付で就任しました。

就任した石渡氏は「これまでの経験を生かしながら、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに向けて、市長をバックアップしていく。また、陸前高田市をよりよいまちにできるよう、1つずつやるべきことを進めていきたい」と今後の意気込みを語りました。

略歴

昭和61年	青森県八戸工業高等学校土木科卒業
同年	建設技官採用
平成25年	東北地方整備局仙台河川国道事務所道路管理第二課長
令和3年	東北地方整備局三陸国道事務所長
令和4年	東北地方整備局企画部震災対策調整官